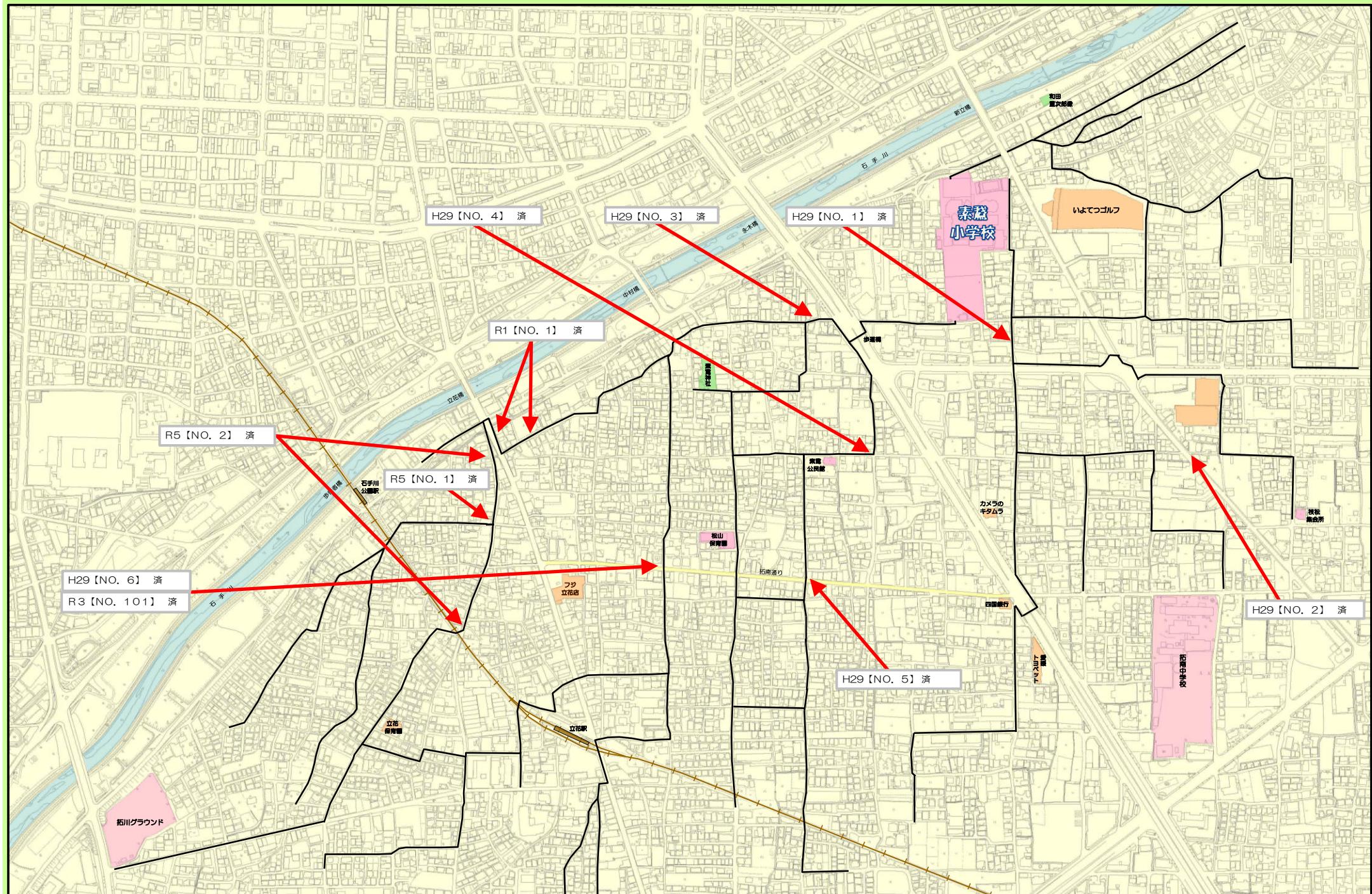


通学路合同点検対策箇所図（素鷲小学校）



H29年度



(状況)
道幅の狭い道路で、交通量が多く注意が必要です。

(対策)
路面帯を拡幅して外側線を引き直し、交差点マークを設置しました。



(状況)
通勤・通学の自動車や自転車で交通量が多い箇所です。

(対策)
路面帯を拡幅して外側線を引き直し、交差点マークを設置しました。



(状況)
道幅が狭い道路で、時間帯規制があるが、気付かずに進入してくる車があります。

(対策)
指定方向外側線を設置しました。



(状況)
道幅の狭い道路で、交差点に気付きにくい箇所です。

(対策)
交差点マークを設置しました。



(状況)
見通しの悪い交差点で、区画線等薄くなっています。

(対策)
交差点マークとドット線を設置しました。



(状況)
見通しの悪い交差点で道幅が狭い道路です。

(対策)
外側線を引き直し、横断歩道予告マークを設置しました。



(状況)
車の通行量が多く危険です。

(対策)
グリーンベルトを設置しました。
外側線・交差点部分は書き込みの白線・ドット線を設置しました。
30キロ規制の標示を設置しました。



(状況)
交通量が多い交差点で、横断歩道が片側にしかないため、帰宅時に横断歩道を渡りにくい状況です。

(対策)
学校で登下校時の指導を行いました。
横断歩道を補修しました。

R5年度



(状況)
交通量が多く、道幅が狭いため児童と接触する恐れがあります。

(対策)
停止線・路面に「止まれ」の表示・外側線・グリーンベルトを設置しました。



(状況)
抜け道として交通量が多く、スピードが出ている自動車も多いです。

(対策)
外側線の設置と引き直し、グリーンベルト・交差点マークを設置しました。